

カリキュラム評価を活かした教育実践 —学習者の学びを評価に取り入れる—



カリキュラムはラテン語の「走る」が語源で、学びの行程を表すものです。教える側が用意した「何を教えるか」ではなく、学習者が「何を学んでいるか」に関する情報を生かしてシラバスやカリキュラムを改良していく必要があります。研修では、日本語のコース、授業での学習者の学習に関する情報収集（アセスメント）のあり方を検討します。これらを通じて、日本語教師が言語学習をコースの中で支援していくとはどういうことかについて議論と考察を深めてみたいと思います。

◆日時：2012年1月28日（土）10：00～17：00

10:00-12:30	【ワークショップと講義】「カリキュラム評価とアセスメント」
12:30-13:30	昼食休憩
13:30-17:00	【ワークショップと講義】「日本語コースでのアセスメント分析」 「アセスメントをコース改善に活かす（カリキュラム評価）」

◆会場：政策研究大学院大学 講義室F（5階）〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

◆交通（最寄駅）：都営大江戸線・東京メトロ日比谷線六本木駅、または東京メトロ千代田線乃木坂駅

◆講師：田中統治氏（筑波大学人間総合科学研究科教授）

◆コーディネーター：古川嘉子・岡本能里子（教師研修委員）

◆定員と対象：40名／日本語のコースのカリキュラムデザインを担当している方。過去に経験を有する方も可。コース改善には職場内の協働を重要と考えることから、同じ職場から2名までの参加を受け付けます。

◆事前課題：ご自分の担当している日本語の科目・コースのカリキュラムを、表にまとめて1月13日（金）までに事務局へメールのうえ、研修当日にお持ちください。コースのシラバスやアンケートなどの資料も可能な限りご持参ください。事前課題のフォームは、参加申込書の次頁以降にあります。

◆受講料（1名につき）：日本語教育学会会員4,000円、一般5,000円、学生3,000円

※応募書類受領後に振込先口座番号等をお知らせします。一旦払い込まれた受講料の返金には応じかねます。

◆申込締切：2012年1月10日（火）※定員に達した場合締切日以前でも募集を終了します。

◆申込方法：次頁の参加申込書（ホームページ <http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> からワードファイルにてダウンロードも可）にご記入のうえ、Eメール添付またはFAXにて日本語教育学会事務局までお送りください。Eメールで応募する場合、メールタイトルは「カリキュラム評価（1月28日）申込」としてください。申込書到着後、折り返し、受講料の振込口座等をEメールにてご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上たっても何も連絡がない場合は、書類未着の可能性がございますので、お手数ですが再度ご連絡ください。なお、12月29日～1月4日は学会事務局が年末年始休業となりますので、ご了承ください。

◆送付先と問合せ：（社）日本語教育学会 教師研修委員会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2F

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp

※応募書類は返却いたしません。この募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

事前課題

研修では、みなさんが教えていらっしゃるコースについて、カリキュラム評価の観点から検討します。御自身が教えている科目やコース（一定期間のコース，あるいは科目。例：アカデミック・ジャパニーズの作文クラス，進学準備課程の初級総合日本語，ビジネス日本語など）について，①A. コース概要（A 4版1枚程度にまとめる。このフォーム以外でも可。）②B. コースの可視化のそれぞれに記入し，1月13日（金）までにメールで事務局にお送りください。また，研修当日は各自プリントアウトしたものをご持参ください。

A. コース概要

1. コース名
2. 対象
3. 期間
4. コースの目標
5. 下位目標（上記4. を達成するための各課，各単元，各時間，等の目標）
*ここに列挙できない場合は，一覧表などの資料持参も可。
6. 使用教材
7. コース内での情報収集
（学習者評価：成績のつけ方，評価基準，テスト，形成的評価など，コース評価：アンケートなど）

*補足資料として，このコースのカリキュラムを考える上で資料となる「シラバス」「評価のサンプル（テストなど）」「授業の記録」を可能な範囲で持参してください。

B. コースの可視化 (次頁に記入例があります)

コース目標：

期間 ／ 時期		時 数		時 数		時 数

コースの可視化 例

コース目標：基本的な日本語の知識を身につける／日本語能力試験 N4 に合格する 『みんなの日本語 I・II』						
期間 ／ 時期	学校行事	時 数	日本語 I	時 数		時 数
4 月	オリエンテー ション		ひらがな・かたかなの確認	3		
	クラス親睦会		第 1 課 語彙・文型導入, 練習 B・C, 自己紹 介練習, 問題	8		
			第 2 課 語彙・文型導入, 練習 B・C, 持ち物 当てゲーム, 問題	8		
			第 3 課 語彙・文型導入, 練習 B・C, 案内練 習, 問題	8		
7 月			小テスト (第 1 課～第 2 課)	3	講師会	
9 月			中間テスト	10		
			第 50 課 語彙・文型導入, 練習 B・C, スピー チ, 問題	3	講師会	
12 月	JLPT 受験		総まとめテスト (第 1 課～第 2 課)	20		
			日本語能力試験対策授業			

以 上